

阪南市日中友好協会 春節会に参加しました。

2012年1月22日（日）11:00～14:30

今年も、草の根活動を展開されている阪南市日中友好協会から招待を受け、見本会長・趙宏偉さんと一緒に春節会に参加して来ました。場所は、昨年と同様、南海本線淡輪駅近くにある池田泉州銀行研修所でした。会場には和歌山外国語学校から留学生10名と先生が参加し、総勢42名で阪南市日中友好協会の皆様と楽しく春節会を祝いました。

今回のイベントは、なんと民謡です。中国からの留学生にとって日本の民謡はどのように感じるのか大変興味がありました。それ以前に私も民謡の本質は理解できていないので困りました。

民謡は、明石会長の友人で新谷氏が“日本民謡仁征会”を組織して地域活動に貢献されているそうです。

11時から始まった日本民謡は東北地方各県の代表的民謡で、先ず“津軽じょんがら節”で開始し、最後は山形の“花笠音頭”と8曲の披露がありました。なかでも最後の“花笠音頭”では、中国人留学生数名が前に出て一緒に民謡を歌い、また明石会長が一人で歌う場面もあり、会場からは拍手喝采でした。

その後、一階の食堂に移動し、参加者全員でお馴染みの“すき焼き”を賞味させて頂きました。留学生全員が中国からと思っていたら、なんと韓国からの女子留学生1名がいて吃驚でした。

“すき焼き”は食べ切れないくらいの牛肉があり、ビール・日本酒・焼酎・白酒などで乾杯の繰返し。今年も“びんご大会”があり、いたる所から“リーチ”“ビンゴ”とコールがかかり会場は大賑わいとなっていました。また、関西日中の趙宏偉さんは、中国人留学生から人気者となり、中国語会話が飛び交い親交を深めていたと感じました。

終わりに留学生全員で記念写真を撮り、春節会は無事終了しましたが、阪南市日中友好協会の草の根運動に関し、役員様のご苦勞を再度、痛感しております。有難うございました。

そして和歌山外国語学院の留学生達よ、在和歌山 加油学習！！



(2012.01.28 事務局)